

阿蘇の草原

総面積 380km²の阿蘇カルデラの風景は、山、草原、湿地で構成されています。この内、草原は約 220km²を占めています。阿蘇カルデラの特徴でもあるこれらの草原は、草地、沼地、牧草地などの自然・半自然のエリアと農耕のための植物を植えられた人工的なエリアで作られています。

特定の地理的位置と気候条件のおかげで、阿蘇の草原は多様な植物や動物が繁栄する豊かな自然生態系を作り上げることができています。この地域には大きな家畜棲息地があります。農業は地域の人々に適合し成功した産業でもあります。これらの草原は、九州の貯水池としても知られており、ここには雨水を貯める天然の地下水槽があり、九州北部に約 500 万人の人々が使用している純粋でミネラル豊富な水を生産しています。

この草原地帯は、春の野焼きや伐採、牧草地としての利用などの人の手によって、急速に育つ木々がこの地帯を森にしてしまわないよう、守られているのです。